

「北陸新幹線ルートについて奈良県知事の発言をどう思いますか？」

平成 28 年 11 月 29 日

●新幹線大好きさんからの質問

北陸新幹線京都～大阪間 奈良県知事発言による奈良回避の件

2016 年 11 月 24 日の奈良県知事の発言を受け、京田辺、新田辺駅周辺の検討を国交省に指示されていますが、当初検討されていた精華西木津地区（たぶん祝園駅を想定）の方が断然将来性を感じます。現奈良県知事は過去から国益を無視した発言が多く、リニア奈良駅を学研都市につくられることを恐れていることから今回の発言になったと考えています。ぜひとも将来性を考慮に入れ都道府県の枠組みにとらわれることなく検討を進めて頂きたいです。特に当初の精華西木津地区案では奈良県と言えども生駒市しか通りませんので、生駒市長の意見も反映させて頂きたいです。生駒市は 2016 年に高山第 2 工区を UR より取得しており、当初案ではこの地区を通ることになり、用地買収等スムーズに話が進むと思われます。ご検討のほどよろしく願いいたします。

●西田昌司の答え

整備新幹線の建設は公共事業方式であり、国と自治体が負担し合って線路の土地の買収等を行い、JR はそこに鉄道を走らせて使用料を国や自治体に払うといったシステムとなっています。というわけで、自治体がノーと言えば事業を前に進めることはできません。

私は、近畿全体の便益や将来のリニア中央新幹線との連携を考えると、精華西木津地区に北陸新幹線を走らせたかったですし、そのように提案し続け

てきましたが、残念ながら奈良県側から明確に拒絶されてしまいましたし、現在の公共事業方式ではこれ以上前に進めることはできません。よって、奈良を通らずにもっと北を通るルートとなりましたが、このルートの方が大阪に行くには距離が断然短くなるというメリットもありますし、これにめげずにこれからも頑張っていきたいと思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>